

科目名	専門分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1	DP2	DP3		
	基礎看護学				担当教員	専任教員				
	看護学原論									
履修学年	1年	履修学期	前期	単位数	1	時間数	30			
授業目標	1. ナイチンゲールが唱える看護の原理がわかる 2. 看護師らしく考え行動するためのリフレクションの活用方法が理解できる 3. 基本的人権としての健康の意味の理解を深める。 4. 看護の原理や看護理論を活用する意味がわかる									
回	学習内容					方法	担当教員			
1 2	1) 看護とは (1) 看護の原理を掴む ナイチンゲールが打ち立てた”看護の原理” (2) 看護は明確な目的のもとに行う (3) 看護と看護学の中核をなすもの (4) 看護学は何を対象とする学問か 看護学の構造 (5) 「看護の原理」と「三段重箱の発想」 (6) 健康の概念、疾病と病気、ウェルネス健康へのアプローチ (7) 看護のメタパラダイム、看護理論の種類					講義	専任教員			
3	2) 看護師らしく思考するスキル リフレクション/プロジェクト学習 (1) リフレクション・省察とは (2) プロジェクト学習とは (3) 実践的知識 (4) 理解の6側面 (5) パフォーマンス評価/ルーブリック評価とは					講義				
4 5 6 7	3) 看護の原理とナイチンゲール P/F課題①「看護覚え書」の価値 パフォーマンス課題①「看護覚え書の価値」 (1) 3つのテーマ (2) 看護の担い手、看護の視点 「はじめに」を読む (3) 看護とは何か「病気とは回復過程でもある」「序章」を読み解く (4) 免疫が担う治癒力と看護 (5) 「看護であるもの」を実現する看護のものさし (6) 現代の視点で「各論」を読み解く (7) 「看護の本質」「おわりに」「補章」を読み解く					講義 演習				
8	4) P/F課題① 相互評価、リフレクション、知の再構築、まとめ					演習				
9 10 11 12 13	5) P/F課題②「看護であるものを導く、看護原理と看護理論」 (1) 看護理論の変遷と展望 (2) KOMI理論 ①看護の目的論 ②疾病論 (3) ①看護の対象論1：「看護の視点で病人の特性」を探る ②看護の対象論2：5過程 ③看護の対象論3：全体像と5過程にみられる相互連関 (4) 看護の方法論					講義 演習				
14~15	6) P/F課題② 相互評価、リフレクション、知の再構築、まとめ					演習				
評価規準・評価方法	パフォーマンス評価・筆記試験 100点									
テキストおよび参考文献	専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論 (医学書院) 看護覚え書 第6版 (現代社) 実践を創る 新・看護学原論 (現代社) 新版 ナイチンゲール看護論・入門 (現代社)									
履修上の注意点										